

令和6年度第2回京田辺市地域包括支援センター運営協議会議事録

会長あいさつ

【議事】

- ・令和7年度地域包括支援センター事業計画について
(事務局より報告)

【質 疑】

委 員) 新しいサービスの短期集中予防サービス「わくわくチャレンジプログラム」(以下わくチャレ)は、介護認定を受けていない人で支援を要する人という理解でいいか。

事務局) 事業対象者は、要支援1・2の方と基本チェックリストに該当した方となる。

委 員) 資料中、介護保険申請とある。わくチャレは介護認定がない人が対象と思ったが、要支援の方も対象となり、ずれた感じがした。

事務局) 要支援1・2の人も基本チェックリストに該当した方も横並び。介護認定をとらなくてもわくチャレは使える。

委 員) わくチャレの内容があるが、喉を鍛えるような運動を入れて欲しい。最近、誤嚥性肺炎で亡くなる方が多い。喉を鍛えるようなマシン等はあるのか？

事務局) 口腔ケアは、専門職の確保が困難で、導入が難しかった。今後、検討したい。

委 員) 喉を鍛えることを推奨する本があり、喉の鍛え方が書いてあるので、参考にしてほしい。カラオケも喉の訓練にいい。

事務局) オーラルフレイル予防については、居場所においても実施し、口腔の機能向上に取り組んでいる。居場所では、30分の体操をし、舌の運動も入っており、継続して実施している。

委員) 食事時に、飲み込む事を意識するとよい。

委員) 地域包括支援センターが、高齢者の相談窓口として機能し、さらに周知していくと言っているが、かかりつけ医という立場も同じである。窓口としての役割を果たしていると自負している。患者からの相談なども多く、行政の窓口を案内するが、患者は知らない。医療側から包括支援センターを紹介する。今回配布された認知症ケアパスはよくまとまっていて、わかりやすい。具体的な医療機関もまとまっている。医師会と連携し配布してみてはどうか。

事務局) 医療機関への配布については、一度配布した。今回の改訂版についても配布を予定している。